

【導入パート】

①両耳、通常距離

(夜の屋敷の縁側にて、部屋の中の棟梁に話しかける)

棟梁？ ロマーシカ…いえ、カミツレ、参りました。何か御用ですか？

(秘伝忍術の修行だと説明され喜ぶ。思わず母国語で感謝、すぐ日本語で言い直す)

はい、まあ…秘伝、忍術…私に？

ッもしや、修行をつけて頂けるのですか！？ ありがとうございます！ あ、ありがとうございます！

棟梁のご命令とあれば、どんな修行も耐え忍ぶ覚悟です！

(棟梁にはげまされ感動する)

私ならば…必ず成し遂げられる…？

はあっ // も、もったいないお言葉っ // は、はいっ、では…失礼致します…

(部屋に入る。暗い部屋に布団一式を見て、夜伽修行だと勘違いする)

…？ この部屋は…？ はっ、棟梁？

一体なぜこのような暗い部屋に…あっ！

ふ、布団が…一式！？ こ、これは…もしやっ //

(興奮して棟梁に抱きつく)

ああっ // ついに…ご恩に報いる時が来たのですね…それも、このような場を設けて頂けるなんて

…私なぞには勿体ない…私、カミツレは…

両耳、近距離

(バランスを崩して布団に倒れる。)

嬉しいです！ ってああっ！

②両耳、超近距離

(布団に倒れ込み棟梁に覆いかぶさる形に、胸が顔に当たる状況)

んうう…と、棟梁…大丈夫ですか？ あっ、うふふ // 覆いかぶさってしまいました…あはは… //

(赤面し恥じらいながら夜伽に入ろうとする。緊張して声が震えている)

ハア、ハア…と、棟梁…ん //

では、このまま、始めさせていただきますね…よろしく願いし…え？

(棟梁から心配され、少し本心が漏れるが恥ずかしさで悶絶)

む、無理などしていませんよ？ 私は、決して義務感や修行の為だけにするものではありませんっ //

お優しいお心をもつ棟梁のことを…その、お、お慕いして…あぁっ // は、恥ずかしい //

ふ、震えているのは、その…私、は、初めてですので…その、上手にできるか不安が…

でっですが、精一杯、棟梁がおよろこびになられるよう努めさせていただきますのでっ！

(心配ではなく勘違いを指摘されていたとわかる。少し残念そうに)

って、へ？ そうじゃなくて…？ 夜伽では、ない？

そ、そうでしたか…私、とんだ早合点を…

考えてみれば、私のような未熟者にそのような恐れ多い役がつとまるはずありませんもの…

申し訳ございません…残念です…

(秘伝忍術が耳かきだと明かされる)

へ？ ミミカキ？ ミミカキって、お耳掃除のことですか？

はい、子供の頃に何度か養母にさせていただきました。

とても心地よいものだったと記憶しております。

もしや、秘伝忍術とは耳かきのことなのですか？

なんと、耳を攻めることで籠絡する術とは…では、今宵はその修業だったのですね…

(夜伽ではないが棟梁と触れ合えるとわかり嬉しそう)

はっ！？ ということは…わ、私が棟梁に！？

そんなっ…あぁっ // 嬉しい //

③右耳、超近距離囁き声、内吸気と耳ふー

(耳をまじまじと眺めながら耳元囁き、くすぐるように)

ん…んふふ…私に、棟梁のお耳をお世話させていただけるなんて…

ああ、このお耳を…私に預けてくださるなんて…夢のようです //

んー、あ…確かに、少し、お耳穴の中が汚れているようです…んむむむ…ナルホドお…

(棟梁がゾクッと反応して驚くが、気持ちいいとわかり安心)

キャッ // 棟梁…今、お耳がビクッとしましたよ？ あの、嫌でしたか？

私の囁き声が、くすぐったい…？ クスッ♡ 良かった♡

(おそろおそろ耳ふー、ビクッと反応があり驚く。手応えを感じ嬉しそう)

もしかして…このようなのは… はー…ふう〜♡(5秒) あんっ // うふふ♡

どうやら、お耳で籠絡というもの、大げさなお話ではないようですね…

左耳、超近距離囁き声、内吸気と耳ふー

(楽しくなって左も耳ふー、さらにしようとして棟梁に止められる)

ひょっとして、こちらも？ はー…ふう〜♡(7秒) クスッ♡ はー…

えっ、あっ！ 失礼いたしましたっ！ ヤダ…私ったらいつまでも棟梁にしがみついて… //

両耳、近距離

(座り直して。膝枕の体勢になるが、恥ずかしい)

はいっ！ お耳掃除修行、喜んでつとめさせていただきます！

どうかご指南、よろしくお願いいたします♡

ひ、膝枕ですか？ あ、は、はい…どうぞ…

んう…こんなの…恥ずかしいです //

【右耳かきパート】

④右耳、近距離

(膝枕、棟梁の髪の毛で膝がくすぐったい為声が途切れ途切れに)

んっ // 膝…枕…人にするのは、初めてです // 髪の毛がくすぐったいです //

でも、初めてが棟梁だなんて…光栄です //

あの、お耳穴のお掃除をする前に、まずは汚れ具合を確認しますね？

右耳、超近距離囁き声、内吸気と耳ふー

(耳穴を覗き込んで汚さに驚く)

んー…まあ凄い！ あっ、いえ…耳垢がたくさん溜まって、その…薄汚な…
いえっ、とてもお掃除のしがいがありそうです♡

あっ // また… 私の囁き声でゾクゾクとしてしまうのですか？

では、こういうのはいかがですか？

(擬音高速で耳元囁き、恐る恐る伺いながらする感じ)

こしょこしょこしょこしょ、こしょこしょこしょこしょ…気持ちいいですか？ もっと？ はっはい //

こしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょ、こしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょ♡

はー…ふう～♡ (5秒) イヤッ // ビクッと…は、はー…ふう～～♡ (7秒)

(いつもは厳しい棟梁のプライベートな表情を見て喜ぶ)

ウフフっ♡ 意外です♡ 棟梁が、こんな表情をなさるなんて…

はい♡ では、耳かき…始めますね？

まずは基本的な、竹でできた耳かき棒で、お耳穴の浅い所の耳垢を掻き出します♡

それでは、入れますね？

(浅め耳かき開始、少し慎重そうに。うまくできているか不安)

ん、ん…あ…んっ // はい、少しずつ…かりかりと、掻きなぞって…ん //

あ、少しピクピクって…気持ちいいのですか？ あの、うまくできているのでしょうか…

ああっ、気持ちいいのですか？ よかったあ // では、このまま…

⑤右耳、近距離

(擬音を発しながら掻けと言われ、困惑しつつも言われるままやる)

はい？ 擬音…ですか？ はい…はい…なるほど…**何だか子供みたい…**

いいえ、子供みたいだなと…

対象を子供のように扱うことも、時に耳かき術には肝要…では、えと…し、失礼します //

こ、こちょ…こちょ…こしょ、こしょ…こ、こうでしょうか？

は、はい // かき、かき…かきかき…耳かき棒の動きに合わせて…かき、かき、かき、かき♡

ん…かり、かり、かりかり…かり、かり…かき、かき、かき、かき…

あれ？ なんだか、取れやすくなっているような…クス♡ 不思議です♡

こしょこしょがよろしいのですか？ はい♡ お望みのままに♡

こしょ、こしょ…こしょ、こしょ…こしょ、こしょ、こしょ…こしょこしょ、こしょこしょ…こちょっ♡

(段々楽しくなってきた、終わらせるのが惜しくなる)

ああっ // つい夢中に…だ、だって…次から次へと耳垢が取れるものだから…

へ？ も、もつとですか？ は、はい…

折角棟梁と二人きりのお時間なのに…これではすぐに終わってしまう…うう… そうだ！

右耳、超近距離囁き声、**内吸気と耳ふー**

(冷却忍術で空気を冷やして耳ふー)

はー…ふう～♡(5秒) あっ // 動かないでください //

お耳穴の中は皮膚が薄く傷つきやすいので、掻きすぎるとすぐに赤くなってしまいます…

ですので…んっ // こうして、適度に息を吹きかけて… **はー…ふう～♡(7秒)**

フフ♡ ひんやりと気持ちいいですか？ 私の忍術は、物や空気を冷やすことができるんですよ♡

その気になれば、湖を凍りつかせることも…もちろん、棟梁には心地良い冷たさで…

はー…ふう～♡ はー…ふう～♡ はー…ふう～♡(15秒)

⑥右耳、近距離

クスクスっ♡ 棟梁ったら…肩がぶるぶると震えていますよ？

少し寒かったですか？ 申し訳ございませんっ…では…

右耳、超近距離囁き声、内吸気と耳はー

(今度は温めるために耳全体に息を吐きかける)

すう…はあ〜♡(5秒) いかがです？ あ、お顔がふにやりと // すう…はあ〜♡(5秒)

右耳、近距離

(浅め耳かき続き、擬音ゆっくり目)

ん…かき、かき、かき、かき…フフ…こしょ、こしょ、こしょこしょ…こちょ、こちょ…こちょこちょ

こちょ、こちょ…こちょ、こちょ…気持ちいいですか？ こしょこしょ、こしょこしょ、こしょこしょ…

(耳かきしながら少し寂しそうに身の上話)

棟梁？ どうかこのカミツレめに、何なりとお申し付けくださいね？

いいえ、決して無理などはしておりません、全て私の本心です…

幼い頃に海難事故で両親を失い、見知らぬこの国で行く宛のなかった私を、
棟梁は快く迎え入れてくださいました…

里の皆様も、南蛮人だからという偏見もなく、他の子供達と同じ様に暖かく接してくださって、
お友達にも恵まれ、何不自由のない暮らしを与えてくださいました…

それだけでなく、私に、故郷の花…カミツレの名を与えてくださった…嬉しかった //

だからせめて、お耳掃除だけでも、棟梁を満足させて差し上げたいのです…
たとえ修行だとしても、です //

さ、どうぞご遠慮なく、お好きなようにお好みの掻き方を仰ってくださいね♡

(棟梁の要求に少し困って)

耳穴を…攻め立てるように…素早く？ 決して手を止めずに…？

そ、そのような事、不快では…屈強な殿方の弱いお耳穴を調教し、意のままに…なんと

承知いたしました…ですがその前に…

⑦右耳、超近距離囁き声、内吸気と耳ふー

はー…ふう～♡ ふっ♡ (7 秒)

それでは、素早くかきかきして参りますね？

(浅め高速耳かき開始、慎重そうに。本当に気持ちいいのか不安)

ん…んあっ // 危ないですから、動かないで…はい♡

んっ、ん…あ、んんっ…あ、棟梁…本当に気持ちよさそう…

こんなふうに素早く…ともすれば乱暴な手つきがお好みだなんて…こんなにビクビクして…

これではまるで、私が棟梁のお耳穴をいじめているようです…あの、本当に…

っ！ 手を止めるなって…は、はい //

(擬音高速)

ん…ん…こしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょ…

ちょこちょこちょこちょこちょこちょこちょこちょこ、素早く…少しずつ場所を変えて…

かりかりかりかり、かきかきかきかき、こしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょ♡

あっ♡ ここですか？ 少し慣れてきました、では…こちらも…

はー…ふう～♡ (5 秒)

右耳、近距離

(初めての耳かきがうまく行って安心)

いかがですか、私の耳かきは…ありがとうございます！

ふう…緊張した… お耳の中、失礼しますね…

右耳、超近距離囁き声

(耳穴を覗き込んで奥の具合を確認)

んー…あ、さっきは手前の耳垢で気づきませんでした…奥にも沢山溜まって…

⑧右耳、近距離

(奥耳かき開始、慎重にするがうまく搔けずに傷つけてしまう)

それでは、続いて、奥まで挿し込みますね？ そーっと…

…ん？ あ…少し、硬い耳垢が…ん、ん…かき、かきい…

あっ！ 申し訳ありませんっ 痛かったですか？

不慣れとはいえ、とんだご無礼を…無理に搔き剥がそうとして、お耳壁を傷つけてしまいました…

(謝ろうとするが、気にするなと言われ安心する)

申し訳っ…ああ…ありがとうございます♡ 本当にお優しい //

はい、では耳かき棒を…こちらの、金属製のやや角が立ったものに変えてみましょうか。

参ります…

(奥耳かき再開、擬音ゆっくり目、慎重そうに)

あっ、先程のものより、ずっと取れやすいです♡

ん…ん…ほじ、ほじ…ほじほじ…ん、がり、がり…

少し鋭い先端が…耳垢にうまく引っかかって…ん…

お耳壁に張り付いた耳垢が、べりべりと…剥がれます…

剥がしながら…搔き出す…ほじ、ほじ…ほじ、ほじ…ごり、ごり、ごり、ごり…ごりごり、ほじほじ…

ほじ、ほじ…ほじほじほじ、ほじ、ほじ…がりがり、がりがり…ごり、ごりごり…ほりりっ♡

(慣れてきて、楽しんで少しからかうような言い方)

ん…ん…あ、んふふ♡ 棟梁？ こちらですか？ それとも…ここっ… あっ // ビクッと…フフ♡

棟梁の弱い所が、次々にあらわになっていますよ♡ いえいえ、恥じることはありません…

お耳の中は鍛えようがありませんし、それに…

右耳、超近距離囁き声

(勇気を出して言葉責めに挑戦)

今は、私と二人きり…どうかご安心なさって、このカミツレめに、もっと…

ビクビクと…な、情けないお姿を…お見せになって…ください //

⑨右耳、近距離

(やっぱり怖くてすぐ謝ってしまう。恥ずかしくてうまく気持ちが言い表せない)

申し訳ありませんっ、つい無礼な口を…

ですが、その、そうすれば私、もっと棟梁のことを知れるというか…身近に感じられるようで…んう //

(奥耳かき再開)

んっ // 大きな塊が…ん、ん…ああ…あっ！ 取れました♡

耳かきとは、存外に、する方も気持ち良いものですね♡

ほじほじ、続けますね♡

右耳、超近距離囁き声、内吸気と耳ふー

さて、こんなものでしょう…はー…ふう～～♡ (7 秒)

右耳、近距離

(やっぱり奥も高速でやるとわかり、今度はひるまず強気)

あの、棟梁？ 一応お聞きしますが…もしや奥も、先ほどと同様に？

っ！ はいっ、もはやひるみません…お耳奥を傷つけぬよう最新の注意をはらい…

謹んで、高速ほじほじさせていただきます♡

右耳、超近距離囁き声

(高速奥耳かき開始、擬音高速。かなり慣れて反応を楽しみだす)

耳かき棒を…もう一度、奥まで挿し込んで…

あっ // うふふ♡ わかってはおりましたが、こうもあっさりとビクビクされると…わかりやすく、フフ

いきますよ？ しっかり我慢してくださいね？

ほじほじほじほじほじほじほじほじ、ほじほじほじほじほじほじほじ♡

ごりごりごりごりごりごりごりごりごり、ほりほりほりほりほりほりほり♡

凄いです棟梁…お耳奥、本当に敏感なのですね…

あまり熱くなってしまうないように、適度に、冷ましながら…

⑩右耳、超近距離囁き声、内吸気と耳ふー

(高速奥耳かき続き、擬音高速)

はー…ふう～♡(5秒) ほじほじほじほじほじほじほじほじ…

はー…ふう～♡(5秒) ごりごりごりごりごりごりごりごりごり…

はー…ふう～♡(7秒) フフ、冷たい吐息と、ほじほじの繰り返し…気持ちいいですか？

はー…ふう～♡(5秒) ほじほじほじほじほじほじほじほじ…

はー…ふう～♡(5秒) ごりごりごりごりごりごりごりごりごり…

あっ！ す、すみません棟梁…夢中になって、ついやりすぎちゃいました…

はー…ふう～♡(5秒) んー…いけない、赤くなってます…申し訳ありません…

せめて、中をしっかりと冷やせたら…そうだ！

右耳、近距離

(念を込めて金属製の耳かき棒を冷やし、耳に入れて中を冷やす)

金属製の耳かき棒なら…んん～…できた♡

入れますよ？ そーっと…はい、耳かき棒を私の術で冷たくひやしました♡

これを…お耳壁にあてがって…高速かきかきで火照ったお耳穴を、ひんやりと癒やします♡

こちらは搔きません、ただあてがうだけです♡

こおお～、そおお～っと、冷気を感じますか？ フフ♡

棟梁ったら、とっても安らいで…目が虚ろですよ♡ 良かった♡

適度に、場所を変えて…お耳穴全体を冷ますように…ん、んしょ…ひんやり、ひーんやり♡

右耳、超近距離囁き声、内吸気と耳ふー

このまま… はー…ふう～♡ はー…ふう～♡ はー…ふう～♡(20秒)

は～…ふう～♡ はー…ふう～♡ はー…ふう～♡ はー…ふう～♡ はー…ふう～♡(30秒)

はー…ふう～♡(10秒)

(温める耳全体息吐きかけ)

あっ、いけない…今度は冷ましすぎました // すう…は～♡ すう…は～♡(10秒)

⑪右耳、近距離

あ…これでは中までは…あ、そうだ //

あ、あの…棟梁？ その…お耳穴の中まで温めて差し上げたいのですが…

どうか…ご無礼を、お許してください…

右耳、超近距離囁き声、内口腔音

(息吐きかけでは中まで温まらず。耳穴に唾液を垂らす。すごく恥ずかしそうに)

う、動かないでください…ね？

んむ…くちゅっ、むぐっ…ん、むくっんちゅっ…むぐっ、ふぁえっあぁえれえ～…じゅるっ♡ (15秒)

っはあっ // 入って、しまいました…

右耳、近距離

(自分の大胆な行動と棟梁の反応に興奮)

ハア、ハア…と、棟梁がこんなにビクビクと…こんなお姿、初めて見た…んふふ♡

は、はい // このまま、綿棒を差し込んで、お耳の中を按摩していこうかと…はい♡

い、入れます…んっ //

(綿棒開始、余韻が残っていてまだ顔が赤く、恥ずかしさで少し声が震えてる)

ん、ん…んしょ、んしょ…

あ、温かい！？ んう、そのつもりでしたが…改めて言われると、は、恥ずかしい //

凄い音… はい、くちゅくちゅと…凄い音が…あの、不快ではありませんか？ んう //

(擬音ゆっくり目。慎重さはあまりなく、その代わり優しく)

こ、こし…こし、くし、くし…すり、すり…すり、すり…こーし、こーし…

くり、くり…くりくり、くりくり…あ、棟梁…お顔が安らいで…気持ちいいですか？

お耳の中には、沢山のツボがあって、
耳かきは各種疲労に効き目があると、以前何処かで聞いた覚えがあります。

所々に、手応えを感じます…日頃の気苦労、お察しします…

どうぞ、この機にしっかりと疲れをお癒やしてください♡

⑫右耳、近距離

(綿棒続き、擬音ゆっくり目)

ん、くし、くし…くし、くし、くし、くし…お耳穴のふちに沿って…つつ一つと…

すり、すり、くし、くし…ずりずり、くり、くり…え？ 回転？

綿棒を回転させながら、くりくりするのが心地よいのですか？ フフッ、はい♡

くり、くり、くり、くり…くりくり、くりくり……くるくる、くる、くる…くる、くる、くるくる♡

さて、それではこのまま…

右耳、超近距離囁き声、 内吸気と耳ふー

奥まで綿棒を滑らせて…奥もくりくり、致しますね？ はー…ふう〜♡ (5秒)

右耳、近距離

(奥綿棒開始、擬音ゆっくり目)

んっ…んんっ…奥の、見えにくい所を…角度をきかせて…えいっ♡

あっ // またビクッと…フッ、やはり綿棒は、柔らかくて使いやすいですね♡

結構強めにしていたのですが…奥をぐりっとされるの、気持ちよかったですか？

では…も一つとぐりぐり、按摩して参ります♡

ぐり、ぐり…ぐり、ぐり…ぐーり、ぐーり、ぐーり、ぐーり♡ ぐり、ぐりりっ♡

あ、くるくる回転ですね？ では交互に…

くる、くる…くる、くる…ぐり、ぐり、ぐり、ぐり…ぐーり、ぐり…くる、くる…くるくる…

右耳、超近距離囁き声、 内吸気と耳ふー

(一瞬でふっと吹き矢を打つような耳ふー)

ふっ♡ (1秒) 不意打ちです♡ 棟梁、隙だらけでしたよ？

ふっ♡ ふっ♡ ふっ♡ ふっ♡ ふっ♡ (5秒)

右耳、近距離

っは…だらしない顔をなさって…もう身構える気もなさそうですね…フフ、可愛い♡

⑬**右耳、超近距離囁き声、内吸気と耳ふー**

棟梁、息が上がっているところ恐縮ですが…このまま綿棒も素早く動かします♡

(高速綿棒、擬音高速。すっかり慣れて棟梁を弄ぶ。楽しそうに)

フフッ、だらしないですよ…

くしくしくしくしくしくしくしくし、くりくりくりくりくりくりくりくり♡

何ですかその手は？ ダーメ、我慢してください♡

さっき手を止めるなど言ったのは棟梁ですよ？

ご自分のお言葉を曲げるなんて、そのような軟弱では、里の長はつとまりませんよ？

しっかりとお耳穴も強くなっていただきますと…

僭越ながらこのカミツレが、高速綿棒で鍛えて差し上げます♡

くりくりくりくりくりくりくりくり、ごしごしごしごしごしごしごしごし♡

ん、ん…あつ // んふふ…ん～…あんっ // もうっ、クスっ♡

まさかこの私が、棟梁に修行をつける日が来るなんて…恐れ多いですが…

その、正直なところ…何やら鼓動が激しく…ああ //

も一っと、嫌というまで、執拗に擦って差し上げますね♡

ぐりぐりぐりぐりぐりぐりぐりぐりぐり、ごしごしごしごしごしごしごし♡

はー…ふう～♡(5秒) 一緒にふーふーするの、気持ちいいですか？

はー…ふう～♡(5秒) はー…ふう～♡(7秒)

はー…ふう～…ふっ♡(7秒)

(子供みたいな反応を見せる棟梁が可愛くて悶える。恥ずかしくて母国語で甘やかす)

ああっもうっ // 子供みたいに手をぎゅっとして…え？ もう一回？ ん～っ //

あ、甘えたくなっちゃったのかな？ しょうがない子ですね♡ へ？ い、いえ…何でも //

⑭**右耳、近距離**

(梵天で仕上げ、擬音ゆっくり目。母性が目覚めて甘やかしモード)

それじゃ、お耳も綺麗になりましたから、最後にこのふわふわの梵天で仕上げしましょうか //

ふわ、ふわ…ふーわ、ふーわ♡ 外側から…なでなでしますよ♡ なーで、なーで♡

はあい、中に入れますよ～♡ ん～んっ // ふん、ふん♪ あ～、はっ♡

あらあら、ずぼずぼされて…ゾクゾクしちゃったのかな？ もっともっと♡

ずぼ、ずぼ、ずぼ、ずぼ♡ ずずず～っ♡

右耳、超近距離囁き声、内吸気と耳ふー

最後ですよ？ 棟梁としての気骨をお見せください♡

はー…ふう～♡ (7秒) んー？ 棟梁？ ふっ♡ (1秒)

右耳、近距離

(右耳完了。冷静になって赤面しながら反省。しかし棟梁は絶賛)

ヤダ私ったら、修行だということをすっかり忘れて…つい楽しんで…

い、いえっその…恐れ多くも、耳かきの最中は、まるで私が棟梁を…
て、手籠めにしているかのようで…私、いやに高揚してしまいました…
このような気持ちは、初めてです //

それに何だか、棟梁が子供のように思えて、つい生意気な態度を…あはは //

良かった？ 真ですか？ あ、ありがとうございます //

では、反対側を致しましょう…棟梁、こちらを…はい、私のお腹側に顔をお向けください♡

【左耳かきパート】

⑮左耳、近距離

(棟梁がお腹側に顔を向け、左耳開始。早速甘やかしてお姉さんモード)

んっ // また、髪の毛が…くすぐったいです、棟梁 //

もう、わざとですか？ 仕方ないですね…今だけです？
お耳掃除が終わったら、威厳を取り戻していただきますからね？

それでは、こちらのお耳も…確認いたします…

左耳、超近距離囁き声、内吸気と耳ふー

(耳穴を覗き込んで、慣れた様子で耳元囁き。擬音高速)

んー…まあ…クスッ♡ こちらも、先程に負けず劣らずたっぷりと耳垢が溜まっていますね♡

ただ…ずっとお預けされていたせいか、お耳穴が、既に仕上がっているご様子です…

搔いて欲しいですか？ フフ、ですがその前に…

こしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょ♡ ふふふっ

こしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょ♡ はー…ふう～♡ (5秒)

期待していますか？ どうぞお楽しみに♡ こしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょ♡

はー…ふう～♡ (7秒)

左耳、近距離

(浅め耳かき開始。擬音ゆっくりめ)

さてと、それでは…まずは竹の耳かき棒で、お耳穴の浅い所から…

入れますね？ そーつと…ん、ん…んしょ、んしょ…あ、取れやすい //

フフ、気持ちいいですか？ 反対側ばっかり搔いてもらってる間…お預けされて辛かったですね♡

あ、いけないっ私ったら…こしょ、こしょ♡ こしょ、こしょ…こしょこしょ、こしょこしょ、こしょこしょ♡

んー…こちょ、こちょ、こちょこちょ……こちょ、こちょ、こしょこしょ、こしょしょっん // あ、ん…

角度を、変えながら…少しずつ、かり、かり…かり、かり、こちょこちょ、こちょ、こちょ♡

ここですか？ 痒い？ じゃあかきかきしましょうね♡

かき、かき…かきかき、かきかき…かーき、かーき♡ かき、かき、かき、かき、かき…フフ♡

⑩左耳、近距離

(耳かきをしながら、少し寂しげに故郷の話)

本当に耳垢が溜まりやすいのですね…真冬の雪のように、掻いても掻いてもなくなる…

幼心にぼんやりと残る、故郷の景色を思い出します…

ええ、私の故郷、露西亜は、ここより遥か北の、海を渡った先にあります。

あ、はい、ロマーシカというのは、カミツレの故郷での呼び方です、

小さくてとても可愛い花なんです♡

故郷へ帰りたいか？ いえ、今の私にとっては、この里が故郷です♡

戻っても、もはや私には……。

(棟梁の優しい気遣いに感動し、思わず本心が漏れる)

え？ いつか、将軍様の許しが出たら、皆で？

っ// はいっ、ありがとうございます// 本当に、お優しいですね、棟梁…

本当にありがとう…大好きです…

(誤魔化して次へ)

いっ、いえ// 何でも…さ、こちら素早くかきかきして、その後は…

左耳、超近距離囁き声、内吸気と耳ふー

(浅め高速耳かき開始。擬音高速。ふっふっふっも高速で)

かっぱりあいたお耳穴に、いっぱい…ふーふーしましょうね♡

こしょこしょこしょこしょ、こしょこしょこしょこしょ、ん…こちょこちょこちょこちょこちょこちょこちょ♡

素早い、お好きですね♡ それ、もっと…かりかりかりかりかりかりかり♡

はー…ふっふっふっふっふっふっふっふっふっふっ♡ (10秒)

耳ふーも素早くしてみました♡

かきかきかきかき、かきかきかきかき…ふっふっふっふっふっふっふっふっ♡ (5秒)

こしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょ♡ こちょこちょこちょこちょこちょこちょこちょ♡

はー…ふう～♡ (7秒)

⑰左耳、近距離

(お腹に顔をうずめて息を荒げる棟梁に少し困った様子で)

もう、棟梁ったら // かきかきしてる間ずっとお腹おハァハァして…恥ずかしいです //

んー…そのくらいにしてくださいね？ お、奥…入れますからね？

金属製の耳かき棒に変えますから、危ないですよ？

(奥耳かき開始、お腹の音を聞かれ赤面、そして思い出話)

そーっと…ん…ほじ、ほじ…硬い耳垢を、引っ掛けて…剥がしながら…掻き出します…

んっ、動か…ないで…あっ // 鼻息が熱いですってば棟梁 //

あ、あんまり、お腹にお顔をうずめられると…その、お腹の音が…

あっ // 恥ずかしい //

っはい…集中していたら、お腹が空きました //

空腹といえば…また、あれが食べたいです。 おむすび♡

…覚えておられませんか？

(少し寂しげに)

この国に流れ着いたばかりの私は、人買いにさらわれ、辛い日々を送りました…

この里に引き取られた後も、怯えて、誰とも関わろうとせず…

何より、言葉がわからなかったので、いつも孤独と恐怖を感じていました…

(自分でも思い出して少し明るく)

そんな私に、棟梁はおにぎりを握ってくださいました…何も言わずに、ただ黙って…

そう！ 夢中で食べて、3つも4つもおかわりしたんです //

(安らいだ顔で)

あの日、私はこの国に来て初めて安心して眠ることができたんです //

あのおむすびの味が、忘れられなくて…ああっ // 思い出すと余計お腹が…ああ～ //

⑱左耳、超近距離囁き声、内吸気と耳ふー

(恥ずかしそうに)

その、つまり…あのおむすびのお礼を、今日はたっぷりとさせてくださいね♡

はー…ふう～♡ ふっふっふっふっふっ♡ ふう～～♡ (15 秒)

左耳、近距離

(奥耳かき続き、擬音ゆっくり目で慎重そうに)

ん…ほじ、ほじ…ほじ、ほじ…ごり、ごり、ごり…ほりほり、ほじっと♡

ほり、ほり…ほりほり、ほじ、ほじほじ…ん // あ… んんっ…ん、と…あ、う…む //

左耳、超近距離囁き声、内吸気と耳ふー

はー…ふう～♡ (5 秒)

では、奥もこのまま…素早くほじほじいたします♡

(高速耳かき開始、擬音高速。鼻息の熱さに耐えながら)

ほじほじほじほじほ…んっ // 鼻息がっ // コラッ、めっ♡

んう // クククッ…もう // ほじほじほじほじ、ほじほじほじほじ♡

ごりごりごりごりごりごりごりごり、がりがりがりがり…んっ //

がりがりがりがり、ごりごりごりごり♡

はー…ふう～♡ (5 秒)

ん？ 気持ちいい？ ほじほじしながらがいいの？ フフ、可愛い♡

はー…ふう～♡ (5 秒) ほじほじほじほじほじほじほじほじ…

はー…ふう～♡ (5 秒) ごりごりごりごりごりごりごりごり…

はー…ふう～♡ (5 秒) ほじほじほじほじほじほじほじほじ…

はー…ふう～♡ (5 秒) ごりごりごりごりごりごりごりごり…

はー…ふっふっふっふっふっ…ふう～♡ (10 秒)

①9左耳、近距離

あっ、また…ついやりすぎてしまって…え？

っはいはい♡ お耳の中熱くなっちゃったから…

(金属耳かき棒を念じて冷やし、耳穴熱冷まし)

んん〜っ…ふう、できた♡

それじゃ、冷たくした耳かき棒で…ひんやり冷やしますよ？

そーっと…ピトツ♡ んふふっ、冷たいですか？ 大丈夫？

左耳、超近距離囁き声、内吸気と耳ふーとキス音

(子供のように甘やかす)

いい子♡ んチュッ♡(1秒) フフ♡

そーっと、つろーっと…お耳穴に、冷気を送り込んで…んー、ふーん♡

はー…ふう〜♡ はー…ふう〜♡ はー…ふう〜♡(20秒)

は〜…ふう〜♡ はー…ふう〜♡ はー…ふう〜♡ はー…ふう〜♡ はー…ふう〜♡(30秒)

はー…ふう〜〜♡(10秒)

左耳、近距離

(わざとらしい失敗。唾たらしをしたくてドキドキしている)

ああっ、また私ったら…つい冷やしすぎてしまって…んふふふ //

これは、お耳の中を、もう一度温めなければいけませんね♡

あの、よろしいですよ？ 先ほどと同じく…その、ね？

だって、お好きですものね？ そうですよ？ ね？ んふふ // あードキドキする…

左耳、超近距離囁き声、内口腔音

(耳穴に唾を垂らし、恥ずかしさで声が震える)

では、失礼いたしますね？ お耳穴を、かっぱり広げて…

んむ…くちゅっ、むぐっ…ん、むくっんちゅっ…むぐっ、ふぁえっぁぁえれえ〜…じゅるっ♡(15秒)

あぁっ、入っ…ひっ // ビクビクって // んっ // …ハァ //

②0左耳、近距離

(浅め綿棒開始、擬音ゆっくり目。まだ恥ずかしさの余韻が残っている)

そ、それでは綿棒で…お耳の中按摩していきますね？

まずは、浅めを…ん、んっ // ん…んっ // こし、こし…イヤッ、音が…いやらしいです //

くし、くし…くし、くし…こーし、こーし…くり、くり、くりくり…んっ、くり、くりくり、くり、こしこし♡

こし、こし…くし、くし…こし、こし、こし、こし…すりすり、ずり、ずり…くりくりくりくりっ♡

左耳、超近距離囁き声、内吸気と耳ふー

(ふっふっふっは高速)

はー…ふう～♡ ふっふっふっふっふっふっふっ♡ (10秒)

奥ですか？ はあい♡

左耳、近距離

クスッ♡ 棟梁は、本当にお耳が敏感なのですね…

完全無欠の忍と謳われたお方にこのような弱点があろうとは…

敵国の忍にでも知られたら一大事ですっ //

左耳、超近距離囁き声

せめて敵に知られぬよう…存分にビクビクと悶えてください♡

それだけでなく…普段里では出せないような情けないお声も、もっとお聞かせくださいね♡

左耳、近距離

ええ、先程から既に何度か漏れておりますよ？ 気づいてらっしゃらなかったのですか？

ウフフ♡ さあどうぞ、ご遠慮なく…今は二人きり、もちろん口外などしませんから♡

左耳、超近距離囁き声

(おっとり優しい目つきで)

気が済むまで、私に甘えてくださいね？ 今だけは、あなたのローマシカですから♡

②左耳、近距離

(奥綿棒続き、擬音ゆっくり目)

ほおら…ぐーり、ぐーり…ぐーり、ぐーり♡ ぐりぐり、ぐりぐり…ぐりぐり、ぐりぐり…ぐりり♡

ぐーり、ぐーり…ぐーり、ぐーり…ぐし、ぐし、ぐり、ぐり…ごし、ごし…ごし、ごし♡

左耳、超近距離囁き声、内吸気と耳ふー

はー…ふう～～♡ (7秒)

(断りなく高速綿棒、Sっ気強めに。擬音高速)

んー？ 待って？ フフ、待ちません、男の子でしょ？

くしくしくしくしくしくしくし、くりくりくりくりくりくりくり♡

すりすりすりすりすりすりすりすり、くりくりくりくりくりくりくり♡

(愛しく思いつつも少し呆れた感じで)

あーんもう、いい加減ビクビクはおやめください♡

こんなにめっちゃめっちゃにされてもまだ気持ちいいなんて…

どうやら棟梁は、ただお耳が敏感というだけではなく…

いじめられるのもお好きなようですね♡

(ドSな攻め)

この変態♡

え？ 今の言葉ですか？ フフ、さあ？ ですが、罵りました…それはおわかりでしょう？

うふふ♡ どうしてお叱りになられないのです？ 眠いから？ ふ～ん…

ひょっとして、罵られてお喜びになられているのでは？

この、軟弱棟梁♡ ふっ♡ (1秒)

弟子のくノ一に、こっそりお耳壁按摩してもらって疲れを癒そうとするなんて…クス♡

本当にだらしないんだから…あー幻滅♡

はー…ふう～♡ はー…ふう～♡ はー…ふう～～♡ (20秒)

はー…ふう～～…ふっ♡ (10秒)

②左耳、近距離

(冷静になって、失礼だったのではと思わずフォロー)

…あ、あの、幻滅というのは、冗談ですからねっ？

あっ、は、はい // すっかり綺麗になりましたので、最後に梵天で、仕上げと参ります♡

あ、もう眠そうですね…どうぞご遠慮なく、お休みになってください♡

(梵天開始。擬音ゆっくり目。棟梁が寝かけているので声抑えめに)

ゆっくり、優しく…すわ、すわ…ふわ、ふわ…そわそわ♡ つつ～、つつつ～っと♡

中に入れちゃいますよ？

それっ、ずぼぼ～♡ あんっ // 眠いはずなのに、ぶるぶるって…クスクス♡

すっぼ、すっぼ…ずぼ、ずぼ…しゅるるっ、すろろ～…ん♡ すぷ、すぷ、ずぷ、ずぷ♡

左耳、超近距離囁き声、内吸気と耳ふー

(声抑えめで)

あー…んふふ♡ おやすみなさいーい♡

はー…ふう～♡ はー…ふう～♡ (10 秒)

左耳、近距離

(エンディング、棟梁は寝てるので声を抑えめに。棟梁の凄さを再認識し惚れ直す)

やれやれ、結局…修行をつけていただくはずが、むしろ私が棟梁をわからせてしまいました…

…あれ？ 棟梁？ ほ、本当にお眠りに！？

いかに修行といえど、この私が棟梁を寝かせてしまうなんて…もしやこれは…

今の私は、確実に耳かきの腕が上がっている…と、棟梁…もしや全て計算ずくだったのでは…

っ…かないません…あなたは本当に凄いい方です //

左耳、超近距離囁き声、内キス音

これからも…私の憧れでいてくださいね♡

そして、いつか私の故郷へ…ふ、二人だけで // おやすみなさい…チュッ♡ (1 秒)

【その他】

②右耳、超近距離囁き声 (Youtube 用 OP)

サークルでぶり♡

両耳、近距離 (Youtube 用 ED)

お疲れ様でした♡ あの、私のお耳掃除はいかがでしたか？

気持ちよくお休みになられればよいのですが…ありがとうございます！

それでは、またお耳が痒くなった時は、このカミツレめに、いつでもお申し付けくださいね♡

またお会いしましょう♡

右耳、近距離

耳かき中に挿入する自然な息遣い (100 秒)